ご挨拶

仲秋の候、皆様ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、日本ウイグル協会は皆様のお陰で8月を持ちまして事務所を開設することが出来ました。

財力としては厳しい状況の中ウイグル運動をもっと開けるための選択でありますが、運動その物もまた、
一層前向きに、頑張っていくつもりであります。

9月に日本の尖閣諸島沖で起こった問題の経緯の中での中国の傲慢さ、自分たちの思い通りに解決するための強引な行動は、日本国民の皆様の目を覚ますたる大きなきっかけになったのは間違いないと感じております。今こそ日本ウイグル協会が日本のために役にたつ時期だと思った次第でございます。

また、9月24日から30日まで、世界ウイグル会議のドリクン・エイサ事務総長が来日し、「ウイグル運動の過去と未来」をテーマにした講演会を行いました。

さらに、自民党の衆参両院議員の先生方と面会し、ウイグル議連の立ち上げに関し、協議しました。

これから民・政ともにウイグル運動を盛り上げてゆくために、皆様と共に頑張りたいと思います。
どうぞこれからも、日本ウイグル協会をよろしくお願い申し上げます。

世界ウイグル会議日本全権代表
日本ウイグル協会会長
イリハム・マハムティ
7・5ウルムチ虐殺事件に対する抗議声明

協会では、事件発生一周年前を契機に、7月4日にデモ行進、5日には中国大使館前に抗議声明書き上げを行いました。

7・5ウルムチ虐殺事件

昨年の7月5日には発生したウルムチ事件から、早10年が経ちました。

協会では、事件発生一周年前を契機に、7月4日にデモ行進、5日には中国大使館前に抗議声明書き上げを行いました。
質疑応答でのカイセル氏
穏やかな語り口と表情が人柄をうかがわせる。

2010/9/27

中央のプロジェクターで映し出した地図などを用いて分かりやすく話を進めるイリハム会長

2010/9/5

世界ウイグル会議設立の経緯を解説するドラクン氏。

熱意のこもった弁舌をみせる。

2010/9/26

「被爆65周年にウイグルの核被曝を考える」集会にて参加者の皆様に語りかけるイリハム会長

2010/8/7

安房平和映画祭ピースサロン

8月6日には、平和公園にて追悼の意を持ったながら、公園周辺でのチラシ配布、午後からは広島市内で街頭演説活動を行いました。翌7日には、こうした活動に加え、地元広島の皆さんを招いた「被爆65周年にウイグルの核被曝を考える」集会を行いました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

中央のウイグル运动の過去と未来講演会

9月25日、国立オリビアン記念館の世界ウイグル運動の過去と未来との講演会を開催しました。講演では、今日に至るウイグル運動の歴史について語り、歴史の裏側を深く掘り下げました。講演者は、カイセル・オザフンを招き、彼の経験を基にした講演を行いました。この地域におけるウイグル運動についての深い洞察を提供し、聴衆を含めた皆様に学ばせることに努めました。
青い横断幕を先頭に掲げ、行進するデモ隊。

2010/7/4
昨年の長崎同様、私は原爆の日と広島に到着したのは、午前9時43分、品川始発ののぞみで、その日の一番で広島のホームに滑り込んだ時間です。本日であれば、原爆投下の時点である8時15分に間に合わず、原爆投下によって命を絶たれた全ての人々の哀悼の言葉を捧げなければなりませんが、その場合、前日に広島に入ることが条件となりました。仕事の都合上、平日の一日半休を取りました。

今回は懸念させていただくでしょう。

早朝の原爆ドーム。8時15分まで2時間以上あるにもかかわらず、既に平和公園へと向かう人々の姿が多く見受けられる。（画像：RFUJ） 2010/8/7
熱々のなか行われた、広島そごう前の街頭宣伝活動。
左端は本編著者。

2010/8/7

東京から向かった日本ウィル県協会のボランティアステナ

対中ODAに代わる中国への資金流れルートの
一つ、アジア開発銀行（ADB）日本の出資比率は15.7％で米国に並び最大。（画像：Wikipedia）
### IPPNW 世界大会報告

### 私の発表について

私は「世界の被曝被害を考える会」のプログラムに参加しました。

### 聴講した講演について

聴講した講演などについて

### 私の発表について

私は「世界の被曝被害を考える会」のプログラムに参加しました。

### メンテナンス

情報システムのメンテナンスで、システムの問題を解決するために、システムの構成を確認し、必要な修正を実施しました。
一日に何キロの運動をしろしないと危険です。日本では運動量不足が問題であり、特に都市部の若者層では深刻です。日々の生活の中で、早歩きや階段を登ること、座っている時間を減らすことが重要です。
これに関連して核保有国が核を手放したがらないのは他国の要求に対するものであります。米国はい、手放したがっているように思うかもしれませんが、多分核兵器の持つ管理性が馬鹿に見られるわけではないと思います。核保有国が核を手放したからといって、核兵器の持ち崩しは容易であるとは限らない上、核保有国ではない国々の核の持つ管理性が馬鹿に見られるわけではないことは解釈できると思います。核兵器の手放しは、米国などの国々が核兵器の管理性が馬鹿に見られるわけではないことを示すものと解釈できると思います。核兵器の手放しは、米国などの国々が核兵器の管理性が馬鹿に見られるわけではないことを示すものと解釈できると思います。
本書は新疆ウイグル人の生活に重要なものである。パザール人マザールについて書かれた書籍です。パザール人はウイグルへ旅行で実際に見て品物を買った方であると思います。マザールはイクスマの聖者の葬儀であり、参弔者を集めた宗教儀式です。観光としてミューアルが場所のあるウイグル人によっているのであるべきだと思っております。マザールは中国とは開かれた場所で、しかしを見るために観光として利用するのが方針なのでしょ？その疑問にたどり着くことがあれば、たとえば書くのを待たずに行こうということかもしれません。マザールは中国とは開かれた場所で、しかしを見るために観光として利用するのが方針なのでしょ？その疑問にたどり着くことがあれば、たとえば書くのを待たずに行こうということかもしれません。

本书は内陸アジア史を日本語で書かれたもののは少なくな、東トルキスタンの歴史を日本語で書かれたものは少ない。「内陸アジア史の展開」梅村 堅 著

山川出版社
編集後記

この9月26日、27日の各講演会、企画をご愛読頂き、本当に有難うございます。

このつながりも、日本でのウィグル運動を二層盛んに終わって作り上げられてきた文化という側面もあリ、私たちの言語文化には色々なつながりがありま
す。

日本でいうまでもなく、ウィグルの問題に関しては、私たちの活動を理解して頂き、応援して頂くことが一つの大きな目的であると存じます。

十月下旬で、日本ウィグル協会は世界ウィグル会議の活動的な基盤の一つとして、ウィグルの動きがある様々な組織に取り組んでいる日本人たちの姿
を、日本では、この2年間という短い時間で、前述の目的を推進しつつあるのを実感しました。

現在のウィグル会議の活動の重要な目的の一つに、世界ウィグル会議の活動を推し進めるためのウィグル運動の盛んな地域の一つである事を見ました。

次に皆さんの努力で、運動が日本全国へと広まることを願っています。

○早めもので、会報「蒼空」も1周年。
○9月26日、27日の各講演会、企画が直前に持ち上がった経緯もあり、ご案内
の不徹底がありました。深くお詫び申し上げます。
○前回問題で、ことに対中
皆さんの努力で、運動が日本全国へと広まることを願っています。

○早めもので、会報「蒼空」も1周年。
○9月26日、27日の各講演会、企画が直前に持ち上がった経緯もあり、ご案内
の不徹底がありました。深くお詫び申し上げます。

○前回問題で、ことに対中
皆さんの努力で、運動が日本全国へと広まることを願っています。

○早めもので、会報「蒼空」も1周年。
○9月26日、27日の各講演会、企画が直前に持ち上がった経緯もあり、ご案内
の不徹底がありました。深くお詫び申し上げます。

○前回問題で、ことに対中
皆さんの努力で、運動が日本全国へと広まることを願っています。

投稿募集のお知らせ

日本ウィグル協会会報「蒼空」も、今後もウィグルに関する様々な活動について、皆様の皆様が、この運動に参加して頂きます様お願い申し上げます。

皆様のご協力に心から感謝致します。

このウィグル会議の活動には、皆様のご協力が心から感謝致します。

このウィグル会議の活動には、皆様のご協力が心から感謝致します。

このウィグル会議の活動には、皆様のご協力が心から感謝致します。

このウィグル会議の活動には、皆様のご協力が心から感謝致します。

このウィグル会議の活動には、皆様のご協力が心から感謝致します。